

「ととのう」

校長 工藤 誠志

11月9日、10日、11日に学習発表会を行いました。残念ながら全校同日に実施することはできませんでしたが、小学部1～3学年、4～6学年、中学部のグループに分かれて、上記の日に実施することができました。保護者の皆さんに児童生徒の学習の成果を観覧いただきました。演目が始まると、小さな動作や演技を見逃さないように保護者の皆さんが瞬きをしないように見つめている姿が印象的でした。どの児童生徒も衣装を身に付けて小道具を持つと「さあ、やるぞ！」と表情が変わるように感じました。必要な物や条件が「ととのう」と集中力ややる気のレベルが一気に高まります。また、演技が終わると保護者席に向かって手を振ったり、友達同士で「やったよー!!」という声や動作で表現したりして達成感を感じ取ることができました。この3日間で児童生徒一人一人の成長をたくさん感じました。充実感のある学習発表会でした。



「ととのう」といえば、最近、流行のサウナです。サウナは男女問わずに気軽に楽しめるものです。日本のお風呂は古代からずっと蒸し風呂が主流で、「ふろ」という言葉はもともと「蒸し風呂」のことを指す言葉でした。「室」(ムロ)から「風呂」になった、とか、諸説あります。お湯に浸かる「湯風呂」が主流になるのは、江戸時代も後半になってようやくなのだそうです。サウナと言うと海外からの輸入品のように思っていますが、日本の沐浴の歴史は大半が蒸し風呂の歴史で、お湯に浸かる入浴の歴史は浅く、日本人にはサウナ好きのDNAが受け継がれていると考えられます。サウナ→水風呂→外気浴を1セットとして3セットほど繰り返した際に訪れる「とても気持ちいい状態」を「ととのう」と表現しています。でも実感した方に聞いてみると、このどれにも当てはまらないような気持ちよさが「ととのう」にはあるのだそうで、体験した方だけが得られる感覚なのでしょう。何事も感じるのが大切です。そして、そうなるように環境等を準備することが大切であることも分かります。



そろそろ12月末のイベントの準備をしているのではないのでしょうか？クリスマスに関連するものは、ツリー、オーナメント、電飾、ケーキ、チキン、プレゼントと考えたらたくさんあります。「ととのう」ともってクリスマスが楽しくなるために必要なものをお子さんと考えてみてはいかがでしょうか？！

図書室の本が復活!!

11月8日(火)にPTAの有志3名が3時間ほど本校図書室で本の修繕をしてくださいました。

以前から古くて破れている本校の図書の状況が気になっていた方からの声を聞いて、教務部が相談をしてみたところ快く修繕作業を引き受けてくださったのです。

作業は一冊一冊の状況を確認して、古いカバーを外したり、表紙の端にテープを貼って補強をしたりするなどしていました。作業の途中に「こんなにたくさん読んでもらったら本もうれしいね。」と話されていたのが印象に残りました。修繕を終えた本は、元の棚に戻されて子供たちがやってくるのを待っています。丁寧に修繕をしていただき感謝いたします。ありがとうございました。

